

311200001

音楽産業論			
中村 孝義			
授業形態 講義	授業期間 通年	単位	4
曜限 木3			
授業テーマ(授業の目的)			
《いずみホール》まるごとプロジェクト 音楽ホール運営の実際			

◆授業のねらい(到達目標)

この講義は、抜群の企画力を持つ、大阪の民間ホールの代表的存在である《いずみホール》と大阪音楽大学との産学協同プロジェクトによる講義である。《いずみホール》から、現場で活躍する人材が多数派遣され、経験的、実践的音楽ホール運営論が講じられる。前期は、民間音楽ホール運営概論、後期は演習的実践も交えた音楽ホール運営実践論である。

受講するものは、講義を受身に聴講するのではなく、派遣講師や担当教員との活発な討論を通じて、ホール運営のノウハウを理解、獲得し、将来音楽産業界で即戦力として活躍できる力を身につけることが期待される。

◆成績評価の方法(評価配分(%))

1. レポート 50%
2. 受講態度 50%

◆教科書

授業ごとに資料配布

◆副教科書

なし

◆参考書

なし

◆授業外の学習方法及びその他

第9回授業時に、これまでの講義内容をまとめたレポートを提出すると同時に、授業内で発表できる準備をする。
第15回授業時に、後半5回の講義内容をまとめたレポートを提出すると同時に、授業内で発表できる準備をする。
第30回授業時に、後期14回の授業内容をまとめたレポートを提出すると同時に、授業内で発表できる準備をする。

◆各回授業の概要

〈前期〉

1. オリエンテーション
2. クラシック音楽業界概論
3. いずみホールの特色
4. いずみホール見学
5. ホールを取り巻く新たな経営環境
新公益法人への対応 文化庁対応など
6. 主催公演の企画制作
7. チケット営業・フレンズ(友の会)会員運営
8. 広報活動
9. まとめ(担当教員とのディスカッション)
10. 公立文化ホールの現状と指定管理制度について
11. ホール管理(ホール管理と貸館業務)
12. ホール見学(ステージマネージャーの仕事)
13. 資金調達活動(文化芸術についての助成、企業協賛など)
14. レセプション業務
15. まとめ(前期総括ディスカッション)

〈後期〉

16. 企画制作の流れ
17. コンセプト作り～シリーズを考えよう(1)
18. コンセプト作り～シリーズを考えよう(2)
19. コンセプト作り～シリーズを考えよう(3)
20. コンセプト作り～シリーズを考えよう(4)場合によりいずみホール企画会議見学など
21. コンセプト作り～シリーズを考えよう(5)予算作り、アーティスト選び、日程調整
22. NHKディレクターによる放送の現場
23. チラシ制作～より目に留めてもらうため
24. 印刷物が出来上がるまで～校正作業など
25. チケット販売、広報、宣伝活動～興行を成功させるために
26. 広報の制作
27. 契約と本番に向けての準備
28. 公演本番
29. 決算と総括
30. まとめ(年間総括ディスカッション)